

いーぶん

● 素敵なパートナーになるために ●

第31号

平成26(2014)年7月

特集

世界からみた日本の男女共同参画 ～日本は遅れてる!?!～



今回の特集は、「世界からみた日本の男女共同参画」です。

「『2020年30%』の目標」をご存じですか?これは社会のあらゆる分野において、指導的地位に立つ女性が占める割合を2020年には30%にしようとする、政府の目標です。

男女共同参画社会の実現のため、女性の活躍への期待が大きくなっていますが、日本の女性の社会参画は進んでいるのでしょうか。世界からみた日本の男女共同参画の現状についてみてみましょう。

応援してます。東北!



世界から見た日本の男女共同参画

日本は、経済的にも技術的にも先進国で、教育水準も高く、物質的にも豊かな国であるにもかかわらず、女性の社会進出は、海外の国々と比べると、かなり遅れているといわれています。女性の活躍への期待が大きくなる中、女性はどれくらい社会に参画し、個性や能力が発揮できているのでしょうか。世界からみた日本の現状を知り、今わたしたちにできることを考えてみましょう。

日本は世界で105位



男女共同参画が進んでいるかどうか、国際的にはかる「ものさし」があります。ジェンダーギャップ指数(GGI)や人間開発指数(HDI)というもので、世界の国々が順位づけされています。

ジェンダーギャップ指数とは

経済、教育、健康、政治の4分野における女性の参画を示す指数で、世界各国の男女平等度合いを表しています。総合順位は、4分野の平均値から算出されています。順位の高い国ほど、男女間の格差が少ない国といえます。

日本は105位

ジェンダー・ギャップ指数の日本の順位は、136か国中105位と大きく落ち込んでいます。国会議員や管理職、専門職など、政治や経済の分野で指導的な立場にいる女性が少ないことが順位の低さの要因となっています。

ジェンダーギャップ指数 2013

総合順位	国名	経済	教育	健康	政治
1位	アイスランド	22位	1位	97位	1位
4位	スウェーデン	14位	38位	69位	4位
5位	フィリピン	16位	1位	1位	10位
14位	ドイツ	46位	86位	49位	15位
18位	イギリス	35位	31位	92位	29位
23位	アメリカ	6位	1位	33位	60位
69位	中国	62位	81位	133位	59位
105位	日本	104位	91位	34位	118位
111位	韓国	118位	100位	75位	86位

世界経済フォーラム「The Global Gender Gap Report 2013」より作成

一方、人間開発指数(HDI)では日本の現状はどうでしょうか。

人間開発指数とは

人々の生活の豊かさや発展度合いを示す指数で、世界各国の平均寿命や1人あたりのGDP、教育レベルなどから算出します。順位が上位になるほど、社会が発展している国とされています。

日本は **187か国中10位**でした。

女性の社会参画という面で見ると、日本は世界と比べてかなり遅れています。日本はなぜ遅れているのか、先進国といわれる欧米諸国と比べて検証してみましょう。

人間開発指数 2013

順位	国名
1	ノルウェー
2	オーストラリア
3	アメリカ
4	オランダ
5	ドイツ
6	ニュージーランド
7	アイルランド
7	スウェーデン
9	スイス
10	日本

国連開発計画(UNDP)
「人間開発報告書2013」より作成

生活時間の使い方は？

夫

夫婦の生活時間(時間・分)

妻



スウェーデン
イギリス
ドイツ
アメリカ
日本



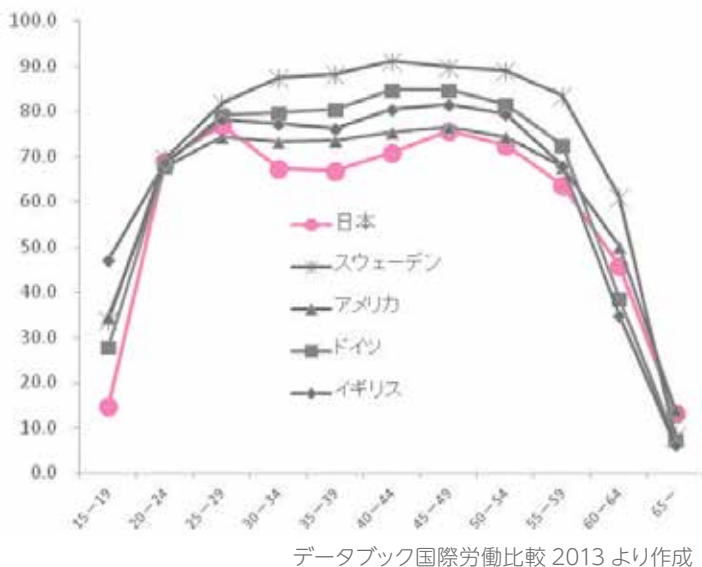
※子どもが6歳以下の夫・妻、有業者における総平均時間
平成23年 社会生活基本調査より作成

日本では、「イクメン」や「カジダン」といわれる、積極的に育児や家事にかかわる男性の姿が見られるようになってきました。しかし、世界と比較すると、日本の夫の家事・育児時間は非常に短く、スウェーデンやアメリカなどは3時間以上であるのに対し1時間程度で、夫婦間でも大きな差があります。一方、仕事時間は日本が突出して一番長く、8時間以上となっています。「男は仕事、女は家庭」という考えが根強く残る日本との育児や家事に対する考え方の違いが表れているのではないのでしょうか。



女性の働き方が違う？

女性の労働力率



日本の女性の労働力率の現状をグラフで年齢階級別にみると、30歳を底とした、いわゆるM字カーブを描いています。結婚・出産・育児のために仕事を辞めるため下降し、子育てが一段落した時点で再び就業するため上昇するという傾向があります。

一方、欧米諸国では、労働力が落ち込むことなく、このようなM字のくぼみはみられません。結婚や出産、子育てを機に離職する女性が少ない欧米諸国では、逆U字型カーブを描いています。結婚や出産を経ても離職することなく、働きつづけることができる制度や環境が整備されていると思われる。

日本は欧米諸国と比較すると、まだまだ性別による役割分担意識が強く残っていることがわかります。女性の参画を進めていくには、固定的な役割分担意識を変えることや仕事にも家庭生活にもバランスよく参画できるような環境整備が必要です。男性も女性も考え方や働き方を変えて、ともに活躍できる環境を整えることで、いきいきと生活できる豊かな社会へとつながっていくのではないのでしょうか。

今回のデータをきっかけに、考え方や時間の使い方を見直してみませんか。

事業所向け男女共同参画出前講座を実施しました。

第1回

平成26年2月13日（木）に慈雲福祉会様にて、管理職の方を対象に実施しました。講師の伊藤亜貴子さん（A & N合同会社）に「ワーク・ライフ・バランスのすすめ～管理職のためのメンタルヘルス対策～」と題してお話いただきました。

部下が休職まで追い込まれる前にメンタル不調に気づいて予防することが大切であると学びました。



セミナー参加者の声

- ・新型うつ症状を聞いて、対応について考える良い機会となりました。指導する側も、相手の立場に立って考え、発言にも気をつけたいと思います。（女性、30代）



第2回

平成26年2月21日（金）に慈雲福祉会様にて、職員の方を対象に実施しました。講師の石川礼子さん（株式会社ダイバーシティコミュニケーションズ）に「ワーク・ライフ・バランスのすすめ～上手なコミュニケーションの取り方～」と題してお話いただきました。

相手を思いやり、もちつもたれつというチームワークが職場を楽しくし、仕事をしやすくすると話されました。

セミナー参加者の声

- ・コミュニケーションとは、自分がしてほしいことをする、相手が手助けを必要としていることに気づくことが大切と思いました。（女性、40代）

【絶賛受付中!!】事業所向け男女共同参画出前講座の申込みを募集しています。

市内の事業所などに講師を派遣し、ワークライフバランス等の啓発を行います。
講師の派遣費用は「無料」です！（講座開催には15人以上の参加が必要です。）
詳しくは、企画政策課までお気軽にご連絡ください。企画政策課のホームページでもご案内しています。

編集協力者／岡西 美子、横井 秀子、吉田 和江、
伊藤 孝司、岩田 宏美

編集・イラスト協力者／後藤 明美
編集・発行／一宮市企画部企画政策課
〒491-8501 一宮市本町2-5-6
TEL 0586-28-8952
FAX 0586-73-9128

eメールアドレス kikakuseisaku@city.ichinomiya.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/>

- * 企画政策課のホームページでは、『いーぶん』のバックナンバーがご覧いただけます。
- * 『いーぶん』は市内公共施設などで配布しています。配布場所については、企画政策課までお問い合わせください。

『いーぶん』に対する、
ご意見等をお寄せください。

